

第61期

株主通信

2024.3.1 > 2025.2.28





私たちは「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて、
お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、
平素より当社事業に対し格別のご支援とご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
ここに第61期の株主通信をお届けいたします。

代表取締役社長 辻 英男



経営環境

食品業界におきましては、原材料価格や労働コストの上昇に伴う商品価格の値上げが継続するなか、消費者の節約志向が高まっております。

このような環境下において、当社は消費者ニーズを的確に捉えた商品開発を進めるとともに、コスト上昇に対応した原価管理の徹底に取り組んでおります。また、省力化機械の導入推進や生産体制の見直しを図り、さらなる成長に向けたグローバルな事業基盤の構築にも努めております。

新工場や工場再編の一時費用により減益

2025年2月期(第61期)の業績につきましては、国内外の新工場の寄与により、売上高は前期比7.5%増の2,224億円となり、過去最高を更新いたしました。

一方で利益面では、海外事業が好調に推移したものの、2024年3月に稼働を開始した入間工場の初期赤字や、生産性向上を目的とした工場再編に伴う一時費用の増加等の影響を受け、減益となりました。

新年度は増収・増益を予想

2026年2月期は、国内での事業の拡大を主因に、売上高が2年連続で過去最高を更新する見込みです。利益面では、増収効果に加え、前期に計上した一時費用の剥落などにより、増益を見込んでおります。

株主還元

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営における重要課題と位置づけ、「配当性向40%をめどに安定的・継続的な配当を実施する」ことを基本方針としております。この方針に基づき、2025年2月期期末配当金は1株当たり45円(年間90円、配当性向58.7%)といたしました。

今後も収益構造の強化を図るとともに、企業価値を一層高め、持続的に成長する企業グループを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

中期経営計画の目標達成に向けて

2028年2月期を最終年度とする5カ年中期経営計画は、3年目に入りました。前期(2025年2月期)は、さらなる成長に向けた工場再編の実施などにより減益となりましたが、最終年度の目標達成に向けた各施策は着実に進展しています。

今期(2026年2月期)は、国内の食品関連事業を中心に売上の拡大と利益の回復が見込まれる一方で、新工場では初期費用が先行するほか、一時費用の発生も引き続き

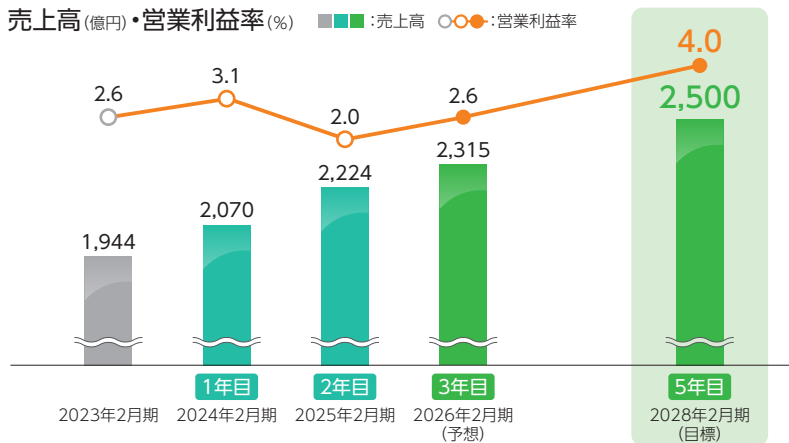
想定されます。また、米国・オハイオ工場の稼働時期は2026年夏(2027年2月期)に変更となりました。

こうした背景を踏まえ、成長投資の成果が段階的に表れ、新工場の収益貢献も進むことで、最終年度にかけて収益力が一段と向上していくものと見込んでいます。今後も中期経営計画のもと、生産体制の効率化や商品力の強化を進め、持続的な成長と企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

最終年度目標(2028年2月期)



売上高(億円)・営業利益率(%)



これまで(1年目・2年目)

売上ポートフォリオの変化

非米飯製品の強化により、多様化するニーズへの対応力を向上

海外での大型新工場の立ち上げ

バージニア工場が稼働開始

食材関連事業の持続的成長

食材加工の強化による価値向上と差別化を推進

配当方針の変更(2023年4月実施)

配当性向40%をめどに、安定的・継続的な配当を実施

これから(3年目以降)

工場再編

2026年2月期をもって2025年2月期から実施していた工場再編は完了

生産性の向上

新工場の生産性向上により、利益の最大化を図る

海外事業のさらなる成長

オハイオ新工場の稼働(2025年9月予定→2026年夏予定)

物流関連事業の拡大

新たな物流拠点の稼働開始

|||| チルドで広がる商品力 |||||

本年3月、チルド製品に対応した伊勢崎工場（群馬県伊勢崎市）の稼働を開始しました。厳格な温度管理により鮮度を長く保てるチルド米飯製品の需要は年々高まっており、当社にとっても生産体制の強化が急務となっていました。

同工場には、「焼く・揚げる・炒める・トッピング」の4工程を備えた最新の製造ラインを導入しています。これらの工程を組み合わせることで、従来は対応が難しかった多彩なメニューや新商品の開発・量産が可能となり、今後の商品バリエーション拡充につながります。

また、生産工程の自動化・省力化により高い生産性を実現し、コスト競争力を維持しつつ、安定供給と品質向上を両立できる体制を構築しています。



伊勢崎工場

|||| サステナビリティへの取り組み |||||

楽しく健康に！社員のスポーツ推進活動

当社では、社員の健康増進を目的にスポーツ活動を推進しています。こうした取り組みが評価され、スポーツ庁や東京都から認定を受けました。

社員一人ひとりが健康目標を掲げ、達成状況を共有する「のりまきチャレンジ」や、社内ウォーキングイベント「わらべやウォーク」を実施し、運動習慣の定着とコミュニケーション活性化を図っています。また、陸上競技選手として活動する社員の支援や、女子プロゴルファーとのスポンサー契約を通じて、アスリートの応援にも取り組んでいます。

新商品情報



フェア商品

もっちりホットク ダブルチーズ

もちもち生地でチーズを包み、屋台風に挟み焼き。モッツアレラにゴーダを加え、チーズのコクと風味を一層引き立てました。



アサイーバナナ スムージー

濃厚なアサイーの味わいとヨーグルトのコクが楽しめます。さらに、1本で1日に必要な鉄分の半分が摂れるヘルシードリンクです。



フェア商品

スッパルグイチキン丼

炭火で香ばしく焼き上げたチキンに、トッポギとコクのある旨辛だれを合わせた人気の韓国料理。ご飯との相性も抜群です。



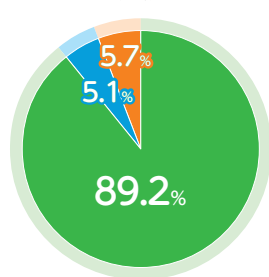
ブロッコリーチキンエッグ

蒸気加熱で旨みと栄養を閉じ込めたブロッコリーに、鶏むね肉とゆで卵を合わせた、健康志向にぴったりの高たんぱくメニュー。



セグメント別の概況

セグメント別
売上高構成比



食品関連事業



コンビニエンスストア向け
弁当・おにぎり・調理パン・調理麺・
焼きたてパン・惣菜・和菓子等の製造販売。

売上高
1,984億円
前期比 9.9%増

営業利益
42.4億円
前期比 28.4%減

食材関連事業



国内外からの食品用材料の
調達・加工・販売。

売上高
113億円
前期比 0.1%増

営業利益
5.1億円
前期比 57.8%増

物流関連事業



食品・食材等の仕分・配送、
物流システムの提案。

売上高
126億円
前期比 1.8%減

営業利益
6.8億円
前期比 3.3%減

(注) セグメント別の営業利益は、連結調整前の数値です。

食品関連事業

成長を支える新たな生産拠点

2025年2月期の食品関連事業では、2023年9月以降に国内外で稼働を開始した3工場が生産力を押し上げ、売上高が大幅に伸長しました。

米国・バージニア工場のフル稼働により、海外売上高は前期比64%増の273億円に大きく拡大。国内では、調理麺専用の入間工場(埼玉県)と焼きたてパン専用のパーカリー工場(群馬県)が稼働し、事業領域の拡大に寄与しています。調理麺や焼きたてパンといった非米飯製品の強化が、今後のさらなる成長機会を生み出します。



入間工場

2025年2月期 決算ハイライト

売上高

2,224億円
前期比 7.5%増

営業利益

45億円
前期比 29.2%減

経常利益

48億円
前期比 28.2%減

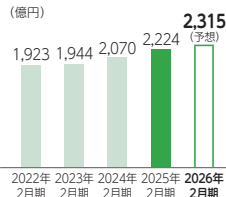
親会社株主に帰属する 当期純利益

26億円
前期比 37.3%減

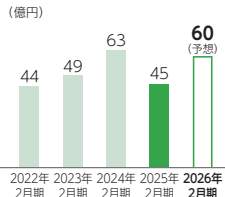
1株あたり年間配当金

90円

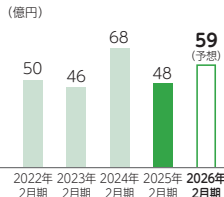
(億円)



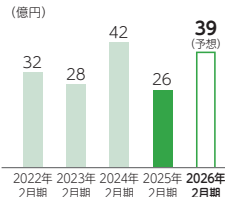
(億円)



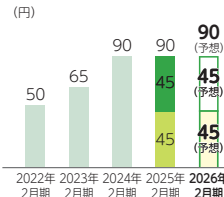
(億円)



(億円)



(円)



■ 中間期 ■ 通期

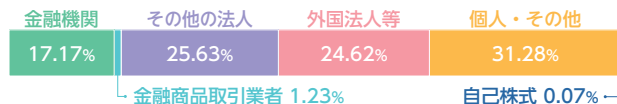
会社概要 (2025年2月28日現在)

商 号	わらべや日洋ホールディングス株式会社 (WARABEYA NICHIOYO HOLDINGS CO., LTD.)
設 立	1964年3月18日
資 本 金	8,049百万円
従 業 員	(連結)社員2,024名／ 臨時従業員7,951名(1日8時間労働換算)

株式の状況

発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	17,625,660株(自己株式12,180株含む)
株 主 数	12,819名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事 業 年 度	3月1日から翌年2月末日まで
定 時 株 主 総 会	5月
定時株主総会の基準日	2月末日
配当金受領株主確定日	(中間配当金)8月31日 (期末配当金)2月末日
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特 別 口 座 管 理 機 関	
連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711(通話料無料)
郵 送 先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 掲 載 URL	https://www.warabeya.co.jp/ja/ir/stock/accounting.html ただし、事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

より詳細な会社情報は
Webサイトをご覧ください

<https://www.warabeya.co.jp/ja/index.html>



株主の皆さまの 声をお聞かせください

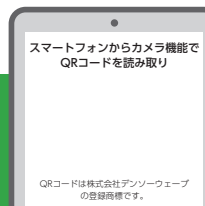
コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。



スマートフォンからカメラ機能で
QRコードを読み取り

QRコードは株式会社アンソニーウェア
の登録商標です。



本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp

わらべや日洋ホールディングス株式会社

〒162-8020 東京都新宿区富久町13番19号
TEL:03-5363-7010(代表)
<https://www.warabeya.co.jp/ja/index.html>

UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境保全のため、FSC® 認証紙と植物油インキを
使用して印刷しています。

